

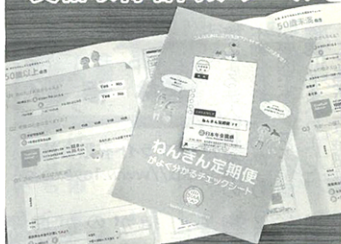
公的保険の知識習得者などの輩出に取り組む一般社団法人公的保険アドバイザー協会（土川尚己代表理事）はこのほど、公的保険アドバイザーの資格取得者向けのツール「ねんきん定期便がよく分かるチェックシート」を開発した。

公的保険アドバイザーが顧客のねんきん定期便を見ながら4つの項目欄に記載するだけで、具体的な保障額や受給額が算出できる。

『ねんきん定期便がよく分かるチェックシート』

公的保険アドバイザー協会

資格取得者向けツールを開発



チェックシートは、ねんきん定期便の記載形式が異なる50歳以上と50歳未満に分けて構成。全体的に視認性を重視した簡易で分かりやすい作りになっている。

チェック項目は「受給要件」と「老後の備え」「遺族年金」「医療費の備え」の4つ。いずれも、ねんきん定期便に記載されている数値を当てはめるだけで、顧客ごとの各種受給額や老後の備えとしての過不足額などが算出できる。

チェックシートはA4巻き三つ折りのパンフレット型で、協会会員（公的アドバイザー資格取得者）であれば有償で購入できる。

協会の土川代表理事は「保険はまず公的保険があつてそれを補完するために民間保険がある。お客様の公的保険を把握することは、最適な民間保険を設計する根拠になる。保険募集人はまず、公的保険の知識習得に努めてもらいたい」と呼びかける。

公的保険アドバイザー協会は、公的保険（健康保険、介護保険、雇用保険、年金保険）について幅広い知識を持ち、その専門知識を生活者に分かりやすく伝えることができる公的保険アドバイザーの輩出を主たる目的とする社団法人。公的保険アドバイザーの資格取得には、協会が実施するW e b受験で一定以上の成績を収めることが必要。